

# Game Report

開催場所：福岡大学

試合区分：第 26 回全九州大学バスケットボールリーグ戦

試合期日：2019 年 9 月 28 日(土)

試合時間：11：40～

CC：上山 正智

U1：紀伊 孝哉

U2：大久保 好純

鹿屋体育大学	○ 68	12	—1st—	11	● 60	東海大学九州
		9	—2nd—	9		
		23	—3rd—	22		
		24	—4th—	18		

## 第1クォーター

鹿体大#38 國松のリバウンドからのシュートで試合開始。両者ともに厳しいディフェンスを序盤より繰り広げ、リバウンド争いになる。東海大は速いパス回しから、#5 荒牧を軸に点を重ねていく。対する鹿体大は#38 國松の3Pシュート、#3 大串のインサイドのシュートで対抗する。ゲーム終盤、東海大#0 岩崎が3Pシュートを決めると、欠かさず鹿体大#38 國松が#24 田村のアシストから3Pシュートを決め返す。両者一步も譲らず、12-11、鹿体大1点リードで第1クォーターを終える。

## 第2クォーター

第1クォーター同様、激しい攻防が続く。鹿体大は序盤からオールコートで当たり、相手のミス誘う。この作戦が効き、鹿体大#38 國松が相手のミスからこのクォーター最初の得点を決める。しかし一步も譲りたくない東海大は#28 脇山のインサイドのシュート、#5 荒牧の3Pシュートで鹿体大に食らいつく。残り0:25、前半をリードして終わりたい鹿体大はタイムアウトを請求。早いパスワークからファウルをもらうも、フリースローを決めきれず、21-20の鹿体大1点リードのまま前半を終える。

## 第3クォーター

鹿体大#10 藤永のシュートで始まった第3クォーター。序盤、鹿体大は#3 大串のジャンプシュート、#24 田村の鋭いドライブで点差を広げていく。このまま流れに乗るかと思われたが、東海大も#10 古市のアシストから#5 荒牧が3Pシュートを決め、流れを渡さない。終盤まで両チームともに3Pシュートで得点を重ねる。点差が広がることなく、44-42、鹿体大リードで勝負は最終クォーターへ。

## 第4クォーター

勝負の最終クォーター。開始早々、鹿体大#3 大串が力強いプレイから連続得点。続けて#38 國松が3Pシュートを決め、点差を離していく。ここですかさず東海大はタイムアウトを請求。タイムアウト後は東海大#5 荒牧の意地のあるプレイで、点差を少しずつ縮めていくも、それを許さない鹿体大。残り4:38での鹿体大のタイムアウトをきっかけに#10 藤永、#24 田村が連続で3Pシュートを決め、点差を11点差まで広げていく。少しでも追いつきたい東海大であったが、鹿体大の厳しいディフェンスに阻まれ、点差をなかなか縮めることができず、最後まで逆転を許さなかった鹿体大が68-60でリーグ戦3勝目をあげた。